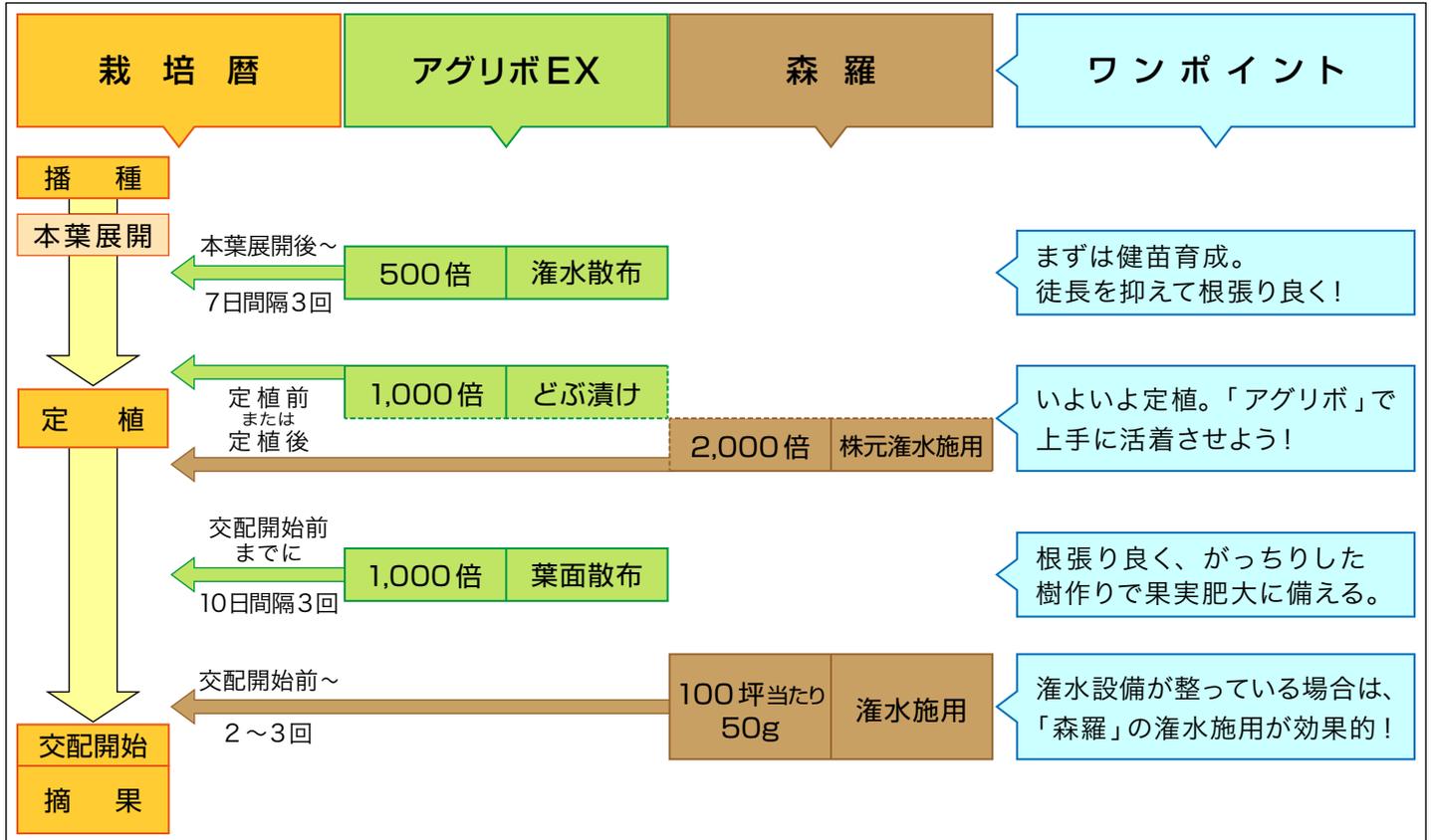


## 前半の「樹作り」に！

生育の後半にすいかで見られる萎れは、果実の肥大期に樹に大きな負担がかかるために起きます。着果期までに萎れに耐えられる樹作りを心がけてください。



## つるボケ対策！

つるボケは水分や窒素の過剰で発生します。つるボケ気味の樹には、交配30～20日くらい前に、りん酸と加里の比率の高い液肥と「森羅」との混用で、2回灌水してください。摘芯などを行ない、勢いを抑えることも効果的です。

## 萎れ症状が出た時に！

まず「アグリボEX」1,000倍希釈液を葉面散布し、続いて「森羅」を100坪当たり50gを灌水施用してください。

天候不順が予想される場合、「アグリボEX」の代わりに「光触媒」入り「アグリボ3」の3,000倍希釈液の散布が有効です。

「アグリボEX」や「アグリボ3」を葉面散布する際、「展着促進材」（界面活性剤・トレハロース）入り「ヤワラ」を1,000倍希釈相当で加用すると、散布液の展着性向上に効果的です。

ご質問 フリーダイヤル イーハナ イーヤサイ アグリボ  
ご相談 **0120-187-183** 相談室

**AGREVO**

<http://www.agrevo.co.jp/>

株式会社アグリボ 〒240-0035 神奈川県横浜市保土ヶ谷区今井町528  
TEL:045-352-5327 FAX:045-352-5328